

2014年 1月 9日
日本船主協会総務部

「新年賀詞交換会」の開催

日本船主協会は、2014年1月7日（火）、海運ビルにおいて新年賀詞交換会を開催した。

朝倉会長は、挨拶の中で、昨年はアベノミクスの金融政策、財政政策が奏功し、行き過ぎた円高が是正され、日本経済に明るさが戻ってきたことに触れ、海運業界は長い間「サバイバル」の状態だったが、今年は「グレイト リバイバル」になると語った。

また、今年度は、業界の諸問題に対するグローバルな取り組みの強化、海運税制、海事クラスターの人材確保・育成等を課題に挙げ、これら課題に取り組んでいく、さらには、「海の日」の7月20日固定化運動や青少年向けの広報などを通じて海運の重要性について国民の理解が深まるよう取り組んでいきたいと語った。

来賓の太田国土交通大臣からは、「来年はパナマ運河の拡張もあり、世界の物流の流れが大きく変わり、日本の外航海運の役割もまさにグレイトリバイバルの年となる」と、「我々も税制をはじめ、しっかりバックアップしていきたい」とのお言葉を頂いた。

当日は、太田大臣の他、野上国土交通副大臣、河野防衛省海上幕僚長、佐藤海上保安庁長官をはじめとする来賓をお迎えし総勢約550名が参加、盛会裡に終了した。



▲朝倉会長



▲太田国土交通大臣